

平成 27 年 5 月 27 日

第 2 回 (5 月)

定例教育委員会会議録

荒尾市教育委員会

平成 27 年 5 月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 平成 27 年 5 月 27 日（水）午前 10 時 00 分

2. 場 所 41 号会議室

3. 出席委員

教育委員長	境	民子
教育委員長	西尾	直子
職務代理者		
委員	泉	亜矢
委員	旭田	國浩
教育長	丸山	秀人

4. 出席事務局職員

教育次長兼生涯学習課長	塚本	雅之	教育振興課長	大神	英子
指導主事	児玉	伊左夫	指導主事	森川	直美
給食センター所長	田上	智子	庶務係長兼学校規模適正化推進室長	江口	雅臣
学務係長	原口	富美	社会教育係長	畑山	鉄也
スポーツ推進係長	浦浜	真宏	文化係長	吉村	麗月
文化係主査	吉田	政博	世界遺産推進室長	岩本	崇

- 境 委員長 ○開会宣言 平成 27 年 5 月 27 日（水）午前 10 時 00 分
 ○会議成立の確認（全員出席）
 ○議題、会議の日程等の承認
 ○会議録署名委員の指名

1. 第 1 回会議録の承認

2. 議案

【議第 17 号 荒尾市通学路交通安全推進会議条例の制定について（教育振興課）】

○事務局説明

○質疑

委員長 教育長 事務局	何かおたずねはありませんでしょうか。 内容について説明をお願いします。 これまでもくらしいいきき課、土木課と共に通学路の点検はしていましたが、H24 年の京都の事故をきっかけに文科省、国土交通省及び警察庁の合同通知があり、体制を強化することとなりました。昨年度の第 1 回推進会議で交通安全プログラム(案)を提案し、第 2 回会議で策定しました。地域や保護者、学校から挙げてもらった危険個所を PDCA サイクルで点検・検討し、道路管理者へ情報提供していきます。学校へは周知済みで、夏休みに点検される予定です。
委員 事務局 教育長	条例ということは議会にかけられるんですか。 はい。 2 市 4 町では最初の策定となりました。地域振興局の方の説明では、推進会議から出た要望の方が道路整備等の予算要求に関し有効ということ で、当会議設置は非常に好ましいとのこと良かったですと思っています。
委員長	私が学校現場に居た頃には、通学路について個々の組織で対応していて、簡単な整備を一つするにしても大変なことでした。関係機関が連携して くださるのありがたいです。
教育長	歩道のない道のカラー舗装などにも取り組みたい気持ちはあります。先日 も登校中の事故のニュースがありました。整備だけで安全を守るのは 難しいですが、安全確保に努めていきたいと思います。
委員長 事務局	今回、変更になるのは組織の構成員についてのみですね。 そうです。例規担当の総務課から、条例へ変更し、外部からの構成員を 明記し組織をより強化した方がよいとの話がありました。
委員長 各委員 委員長	本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。 異議なし ご異議がありませんのでそのように決しました。

【議第 18 号 荒尾市学校評議委員の委嘱について（教育振興課）】

○事務局説明

○質疑

委員長	備考欄（役職等）の空欄は何でしょうか。
事務局	事務局も情報を持っていない分です。
委員長	学校から空欄で提出されたのですね。
事務局	はい。
教育長	空欄は埋めた方がいいかもしれないですね。
委員長	肩書きは要らないんですが、備考に主婦などを書いてある方もおられましたので、空白の方はどのような方なのか学校に問い合わせてください。
委員長	本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。
各委員	異議なし
委員長	ご異議がありませんのでそのように決しました。

【議第 19 号 荒尾市特別支援連携協議会委員の委嘱について（教育振興課）】

○事務局説明

○質疑

委員長	本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。
各委員	異議なし
委員長	ご異議がありませんのでそのように決しました。

【議第 20 荒尾市中心身障害児童生徒就学支援委員会委員の委嘱について（教育振興課）】

○事務局説明

○質疑

委員長	何かありませんでしょうか。
委員	教育相談から就学先決定までの流れを教えていただきたいのと、知的障害や自閉症がここ最近増えてきたなあと感じています。このことについて説明をお願いします。
事務局	<p>まず就学支援の流れについてですが、今年度は8月9日に市主催の教育相談会を開催する予定で、今その下準備をしているところです。幼稚園や保育園に、気になる子どもはいないかを文書で照会をかけ、来年度就学の子どもに関する情報収集をしています。それをもって、保護者の同意を得たのちに相談会で専門医などにみていただきます。子どもに一番適した就学先を決定する目的です。また、在籍中の児童生徒についても学校から情報をあげてもらいます。小学6年生については支援学校への進学も選択肢になる場合があります。全て、最終的には保護者が決定します。加えて、教育相談会は、学校に特別支援学級を新規設置する際にも重要になってきます。</p> <p>次に、自閉症等の子どもの現状についてですが、以前より増えていることは事実です。学級数も増えています。自閉症・情緒障害の学級については小学校1校を除いて全ての学校に設置されている状況です。以前は、特別支援学級というと知的障害学級が多かったのですが、今は自閉症・情緒障害学級が多くなっています。また、保護者から同意を得ることが</p>

	<p>難しく特別支援学級に入ることができなかった子どもについて、通級指導教室での対応もとっています。</p>
委員	<p>就学支援委員会は、入学する前を対象としたものですか。</p>
事務局	<p>既に在籍している子どもについても対応します。</p>
委員	<p>特別支援連携協議会との区別はどういったところにあるのですか。</p>
事務局	<p>一見似たような複数の連携協議会や支援委員会などが存在していて分かりにくい現状にあることは認識しています。それぞれ出発点も異なることもあり別組織になっていますが、構成員が重複していることも見受けられますので、教育委員会としても今後精査していく必要があるのではないかと考えています。</p>
教育長	<p>発達障害の子どもの、幼保小中間の移行に関するところが特別支援連携協議会で、就学支援委員会は、就学についてや就学先を変更する際の助言をしているという区別ではあります。いずれの場合も、最終決定はどこがするのかという問題になります。専門医が就学について妥当な見解を示しても、保護者が納得できなければその通りにはいきません。なかなか難しいところがあります。新聞でもよく見かけますが、現場では本当にこのような支援が必要な児童生徒が増えていて、特別支援教育は学校教育のひとつの柱であり、しっかり対応していかなければと考えております。</p>
委員	<p>大体分かりました。</p>
委員長	<p>決定権をもっている保護者全てに理解してもらうのは難しいですね。適した就学先を断言することは難しいときもありますよね。</p>
委員	<p>巡回相談についてですが、学校に来ていただく回数を増やしてほしいです。面談で、様子を見てみましょう、となって次の面談まで期間が空きすぎることがあります。</p>
事務局	<p>荒尾支援学校の先生にまわっていただいています。玉名管内の幼稚園、小学校中学校を全てまわられます。今年度から市の臨床心理士にも年間5回、小中学校をまわってもらうことになりました。それぞれの調整が難しいですが、密にしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>対象の子どもがかなり多いなあとは思っています。低学年のときはまだいいとしても、大きくなったときに、周りのみんなについていけないことなどが生じいろんな思いを抱きます。そうなる前になんとかできないかと思っています。</p>
委員長	<p>捉え方やその幅の広い問題だと思います。保護者も、子どもについてその一部は特別な支援が必要と認めても、総じれば問題ないと判断する人もいるかもしれませんが、各々がこのことについて学んでいかなければいけないんでしょうが、なかなか専門医でも絶対的に断言することは難しい分野だと思います。</p>
教育長	<p>発達障害の子どもの症状が、成長と共に少しでも緩和されて、自分に合ったところに就職していけばいいが、成長する段階で孤立感を強めたま</p>

委員長	<p>ま大人になってしまうケースもあります。</p> <p>先に制度についても話がありましたが、年間を通じて子どもをみていくことが重要ですね。誰も、パーフェクトで何一つ問題が無いという人は居ません。子ども一人一人に望ましい学びを保障をすることは私たちみんな考えていくことですね。ベストは難しいですが、一つずつベターにしていきましょう。</p>
-----	---

【議第 21 号「荒尾市社会教育委員の委嘱について」(生涯学習課)】

○事務局説明

○質疑

委員長	本件は原案のとおり決することにご異議ありませんか。
各委員	異議なし
委員長	ご異議がありませんのでそのように決しました。

【報告第 9 号「平成 28 年荒尾市成人式の開催について」(生涯学習課)】

○事務局報告

○質疑

教育長	大牟田市はどこの主催ですか。
事務局	首長部局の市民環境部が主管しています。
教育長	自治体の組織人数などにもよるでしょうが、必ずしも市が主催となっていないところもありますね。
事務局	荒尾市の成人式の予算としては、使用料の減負で利用している会場の借入料としてはある程度かかっていると思いますが、他には記念品代としての少額の支出であり、大きな負担とはなっていません。今後、本当の意味でどこが成人式を主催することが新成人の喜びになるのか議論することもあるのかなとは思っています。
教育長	職員の負担が大きくなっているようなことはありませんか。
事務局	夜に数回の会議があるのと、ビデオ作成等のお世話はあります。新成人が主体でやってもらうという趣旨でのお世話は、職員がやるのよりも大変なところはありますが、社会人への第一歩という意味では、社会教育の一環でもあると考えています。
委員長	自分達で企画運営をするのはいいことですね。

【報告第 10 号「市民プールの営業について」(生涯学習課)】

○事務局報告

○質疑

	特になし
--	------

【報告第 11 号「イコモス勧告について」(生涯学習課)】

○事務局報告

○質疑

委員長	待ちに待った勧告ですが、なにかありますでしょうか。
委員	韓国からの反対もあるようですが、上手く行けばいいなと思っています。
委員長	みんなそう思っていますね。

【報告第12号「万田坑「おもてなし」状況について」(生涯学習課)】

○事務局報告

○質疑

委員	これからの予定について、夏場対策が挙げてありますが、熱中症対策なども気がけてほしいです。
教育長	熊本城で、ドローンの規制を検討する声も聞きました。万田坑も広場がありますし、そういった対策をしなければならなくなる可能性もありますね。
委員	万田坑と宮崎兄弟の生家セット券があると思いますが、万田坑の来場者数増加に伴って生家の来場者が増えていたりすることはありませんか。
事務局	目立って増えているということはないようです。
事務局	NHKのドラマなどの影響もあって生家も来場者が増えてはいますが、これからは文化施設であり観光施設でもある特質を生かし、周遊コースに入れるなどして活かしていきたいと考えています。
委員長	万田坑での物販についてですが、食べ物などのおみやげを買いたいと思ったときに、探しにくいと感じました。ほとんど対応してもらえず寂しく感じました。物販への対応者が居ないような状況で、買い損ねて帰って行くお客さんもみました。楽しく買物ができる工夫をお願いしたいです。万田坑の話といえば、先日、熊本市で会合があったとき、隣の知らない方から万田坑について声を掛けていただいて、とても嬉しい気持ちでしたということがありました。
事務局	お好み焼きの石炭ゴロゴロ万田焼というのも作られています。物販については観光協会の管轄ですので、所管の産業振興課に伝えます。来られた方の印象というのは大切なことですので、改善できることがあれば改善していく必要があります。そのような声をいただくことで改善していくことができます。
委員長	梨ジェラートというのはとても美味しかったです。どこで食べることができますか。
事務局	カップ入りのものは万田坑で売っています。
事務局	ゴマを練りこんだ万田坑にちなんだソフトクリームも発売しています。黒く、風味がよいです。
委員長	たくさんの方に来ていただいて笑顔で帰っていただきたいです。

【その他 6月行事予定】

○事務局説明

○質疑

特になし

【その他 次回会議について】

事務局 6月22日(月)10時から開催したいと思います。委員さん方のご都合は
いかがでしょうか。

各委員 異議なし。

委員長 それでは次回定例教育委員会は6月22日(月)午前10時から開催しま
す。

委員長 ○閉会宣言 平成27年5月27日(水)午前11時25分

閉議 午前11時25分